

鋸山林道ボルダー

2016.11.9 rctK

このところ私用で忙しく、加えて、10月末、帰省中に山伏の禅頂修行に随行させていただき、藪払いをしながら峰々を踏破したため、大分身体に負担がかかってしまい慢性の腰痛が悪化してしまった。寄る年波には勝てないというところである。

さて、帰京後半日程度で行って帰れる場所ということで、鋸山林道ボルダーが思い浮かぶ。実は、夏季に何処も結露で登れない時にちょっと訪れてみたのだが、そこそこ乾いていたものの、植林の手入れをしていないため大分荒れてしまっており、整備だけして帰ってきたことがある。ようやく好天が続く昨今、状態はいいと思われたので行ってみることにする。奥多摩の弁天橋手前から鋸山林道に入り、大きくカーブした林道の先に明るく開けた広い駐車スペースがあり、そこに車を止める。アプローチは直ぐ先の「航空電子グループの森」の説明版の手前を左に下るのだが、大きな樅の木が目印となる。



ボルダーは3つあり。樅の木の下に2つ(AとB)、そこから南に少し離れた位置に1つ(C)あるが、それぞれ小さいながらも、下がハングしており、いかにもボルダーという感じである。

各ボルダーの取り付けは安定しているが、ボルダー上部から落ちると傾斜地に落ちるので注意が必要である。(写真は樅の木とその下にあるBボルダー)

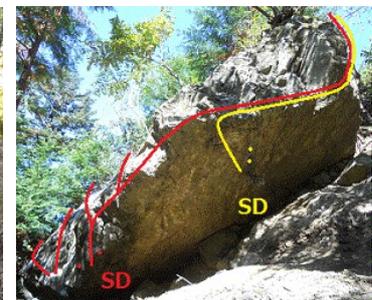
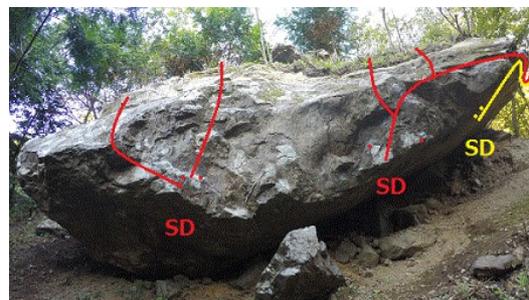
●Aボルダー(左) & Bボルダー(右)

Aは樅の木に向かって左の2.5mほどの高さのボルダー。ハング下が崩れやすいので注意が必要だが、危険という感じではない。ハング左のSD課題がちょっと難しい。



Bは樅の木に向かって右の2mほどの高さのボルダー。右上していく課題が面白い。

●Cボルダー



Bボルダーからトラヴァースしていくが、アプローチの途中から踏み跡を直接行くこともできる。

2.5mほどの高さであるが、南北に細長いのでいろいろと楽しめる。昔は檜が植林されたばかりで明るく陽当たりも良かったが、現在は檜が伸びてしまい、夏季はの結露が酷い時がある。

課題としては、正面右から南面へのリップトラヴァースなどが面白いが、正面のショート課題も抜け口のマンタリングがいやらしいので緊張する。

今後の課題設定としては、正面中央から左右に最後までリップをトラヴァースする課題などが挙げられるが、もしトライしたい人がいたら、勝手にやってもらって構わない。